令和元年度
２月２１日
第６号

CS雷山小通信

命をはぐくむ雷山学
～やさしい心と笑顔がいっぱい
雷山コミュニティ～

雷山小学校学校運営協議会

第４回学校運営協議会が、２月１７日（月）に行われました。

今回の内容は、
①学習の様子を参観いただくこと
②学校関係者評価について学校より説明。説明後、評価についての協議
③「CSの１年間の取組を振り返って」
「次年度の学校経営の方向性及び学校運営協議会の組織運営について」学校の方より説明
説明後、次年度の学校経営の方向性や令和２年度のコミュニティスクールの組織・運営面について、質問・御意見をいただきました。

今回御出席いただいた、学校運営協議会の委員の皆様は、次のとおりです。

役職名	氏名(敬称略)	所　属　等	役職名	氏名(敬称略)	所　属　等
会　長	井上　正人	雷山校区区長会長	委　員	髙武　孝充	学識経験者（初年度区長会長）
副会長	榊　　勝	雷寿会(ｼﾆｱｸﾗﾌﾞ）会長	委　員	堀本　一繁	学識経験者（児童保護者）
委　員	有田　慶二	雷山公民館長	委　員	森本　貴子	前原中　主幹教諭
委　員	浅利　正勝	社会教育委員			
委　員	中村　安治	民生児童委員代表			

【　学習参観の様子　】

【　学習参観の様子　】

【　協議会の様子　】

【協議の中で出された質問・御意見】

１）学校関係者評価について

（学力向上面）
・（本年度の学力テストの結果より国語科に課題があることを受けて）国語科の学力を向上させるよう取り組んでほしい。
・全国平均と比べての評価に加え、同一の集団がどのくらい伸びたのかも評価に入れてほしい。
→分析の視点として入れている。経年変化を追って見ていくことを大事にしている。
・全国平均と比較して下がっているところは、今後、向上できるよう努力してほしい。
・学習参観や学級懇談会の保護者の出席率はどのくらいあるのか。懇談会の内容を魅力あるものにしていくことも大切である。

（生活力の向上面）
・きまりを守ることに課題がある。
・「異学年との交流」の内容は、是非続けてほしい。社会に出たら、様々な年代の人と折り合いをつけながらうまくつきあっていく力をつけなければならない。

（体力の向上面）
・昔の子どもたちと比べると外で遊ぶ機会も減り、体力面は低下しているように感じる。
・遠足などで、ある程度長い距離を歩く体験は、このまま続けていってほしい。

２）コミュニティスクール雷山小の組織・運営面は、今年度のまま継続

・学校運営協議会の日程については、出席しやすい曜日や時間帯を工夫してほしい。
〇子どもの実態を踏まえ、確実な教育活動を推進し、信頼される学校づくり。
〇地域とともに子どもを育てるコミュニティ・スクールを推進。
〇地域の教育資源を生かした教育活動や地域とともに行う活動，地域に貢献する活動等を行い，地域の良さに気付くとともに，地域を誇れる子どもを育てる。

学校運営協議会委員の皆様、１年間　御協力ありがとうございました。